

2006 年度物質班大阪湾観測報告

総合地球環境学研究所 石飛智稔

期間：平成 18 年 8 月 19 日～25 日（6 日間）

調査目的：

1. 大阪湾沿岸である兵庫県西宮市御前浜をモデルケースとして、地下水による陸域から海洋への水・物質の輸送量およびそれらが沿岸環境へ与える影響を、陸域 - 海域間の総合的な観測により明らかにする
2. 大阪湾海底の堆積物採取より、人間活動による汚染の歴史を復原する

調査メンバー：谷口真人、梅沢有、細野高啓、石飛智稔（地球研）

小野寺真一、林政輝（広島大）

林美鶴、田辺祥子、学生（神戸大）

藤井智康、学生（奈良教育大）

上村剛史（総合研究大学院大学）

笠原茂（総合科学）

井口博夫、学生（兵庫県立大）

宮岡邦任、学生（三重大）

観測内容：海洋へと流出する栄養塩フラックスの評価（地球研・広島大）

地下水による海洋生態系への影響の評価実験（地球研）

大阪湾海底の堆積物採取（地球研・神戸大）

沿岸海域での地下水湧出量の定量的評価（地球研）

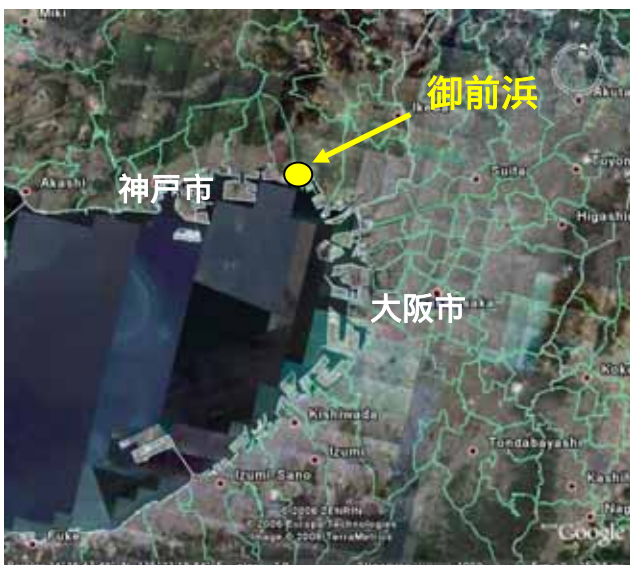
御前浜背後の陸域地下水調査（広島大）

御前浜における地下水を含めた水・物質収支の評価とそのための海洋・河川観測（神戸大）

地下水環境が海岸生物の種構成および分布に与える影響の評価（奈良教育大）

温度を指標とした潮間帯における広域地下水流動探査（総合科学）

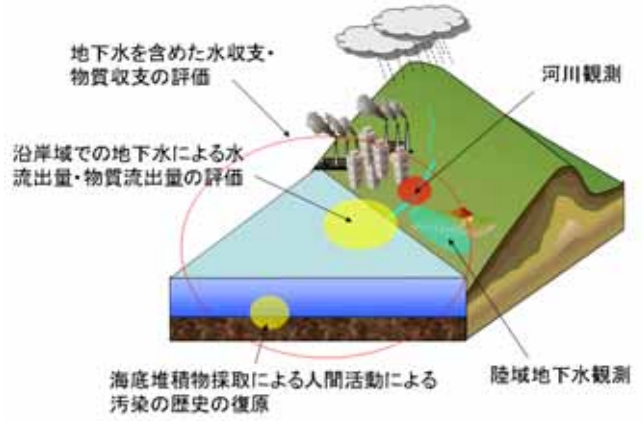
潮間帯地下の海水地下水分布調査（三重大・兵庫県立大）



調査地点位置図（左）と調査地の空中写真（右）

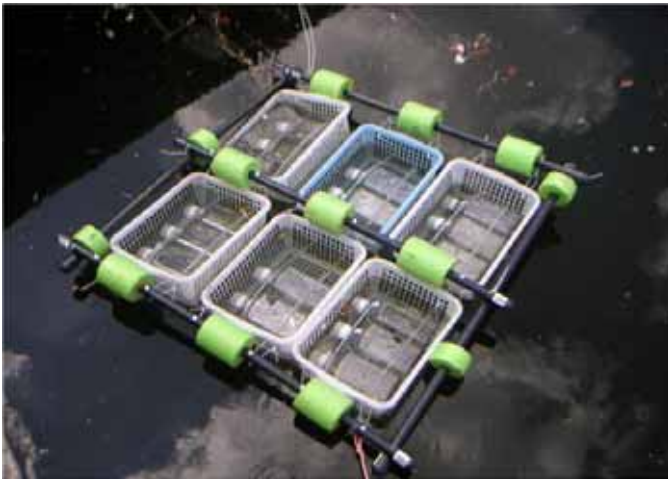


観測地点の写真（沖方向（南向き）に撮影）



観測の全体イメージ図

*****観測の様子*****



地下水による海洋生態系への影響の評価



沿岸域における地下水流出調査





陸域地下水調査



海洋観測 & 河川観測



海底堆積物の採取

